

特に注意を要する場所



正面入口は自動ドアだが、建物周辺に階段があり車椅子では通り抜けない。隣接するさくらキッチン側の入口を推奨するが、そちらのドアは手動の為、閉鎖時は介助者が必要である。



建物前のスロープが急である。車椅子単独での通行は危険が伴うので介助者が必要である。史料館に事前連絡することを推奨する。



自動車入構ゲート脇にある通行スペースは幅が狭く、車椅子一台通行するのがぎりぎりである。片傾斜もある為、通行の際には周囲の状況等に注意を要する。



南門付近の舗装が悪く、くぼみや段差、溝があり通行の際には注意を要する。



曜日によって、ごみ集積場所周辺の歩道が狭くなり、通行しにくい時間帯がある。車椅子での通行は可能なものの注意を要する。



自動車入構ゲートから建物までは長い坂道がある。車の往来もある為、車椅子単独での走行は難しく通行の際には介助者が必要である。



建物入口は自動ドアである為、屋外から建物内に入るには問題がない。ただし、建物内から屋外に出る際には、自動ドアに向かって床が傾斜しているので通行に注意を要する。



交通量が非常に多く、交差点の見通しも悪い。自動車の死角に入らないよう、横断の際には十分注意が必要である。

バリアフリーマップができるまで

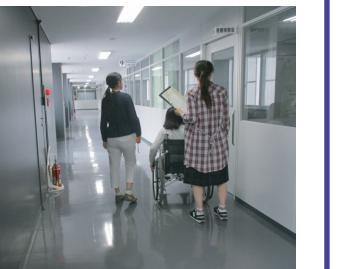


①実際に車椅子に乗車して情報収集する

キャンパスを利用する方が「安心・安全」に構内移動ができるよう、キャンパス内やその周辺の道の、傾斜やでこぼこ具合等を調査します。また、スロープや出入口、多目的トイレ、AED、エレベーターなど建物内の設備状況も調べます。



片平キャンパスにて



多目的トイレにて



学生実験棟にて

②収集した情報をマップに落とし込む

どんな情報を盛り込むか、対象は誰にするのか、ということを特別支援室と学生センターで何度も話し合い、白地図に情報を入れ込む作業を行います。必要に応じて再調査も行い、最後はキャンパスデザイン室にもご協力いただき、全体を作り上げていきます。



バリアフリーマップ構成会議にて

バリアフリーマップの活用法

必要な情報を丁寧に反映することを意識して作成されたバリアフリーマップは、学生のみならず学内教職員にも広く共有され、キャンパスの改修・改善に活用されています。また、歩行に困難のある方が来校するときや業者の方が台車を使うときにも役立てられています。

※バリアフリーマップは片平キャンパス以外に他キャンパスのものもあります。詳しくは、東北大学学生相談・特別支援センター 特別支援室 HP の刊行物ページをご覧下さい。

東北大 バリアフリーマップ

片平キャンパス

東北大学片平キャンパスには、大学本部や各研究所などがあります。このバリアフリーマップは、学生センターの協力によって作成しました。障害のある方がキャンパス内を移動しやすくなるよう、段差やスロープなどを分かりやすく表示しています。ぜひご活用ください。

片平キャンパス情報

■所在建物

- 本部事務機構
- 生命科学研究所
- 法科大学院
- 公共政策大学院
- 会計大学院
- 金属材料研究所
- 流体科学研究所
- 電気通信研究所
- 多元物質科学研究所
- 材料科学高等研究所 (AIMR)
- など

■住所

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1

■交通アクセス

仙台市営地下鉄東西線 青葉通一番町駅
(仙台駅より八木山動物公園行に乗車)
仙台市営地下鉄南北線 五橋駅
(仙台駅より富沢行に乗車)

学生センター募集中!

一緒に支援活動してみませんか?



初めは研修があるから安心です！特別支援室スタッフ、先輩センターと一緒に学びながらバリアフリーな大学を実現しましょう！新入生はもちろん、大学院生、学部2年生以上も歓迎です。



特別支援室
Twitter



より詳しく
知りたい方

